

# 鶴の声

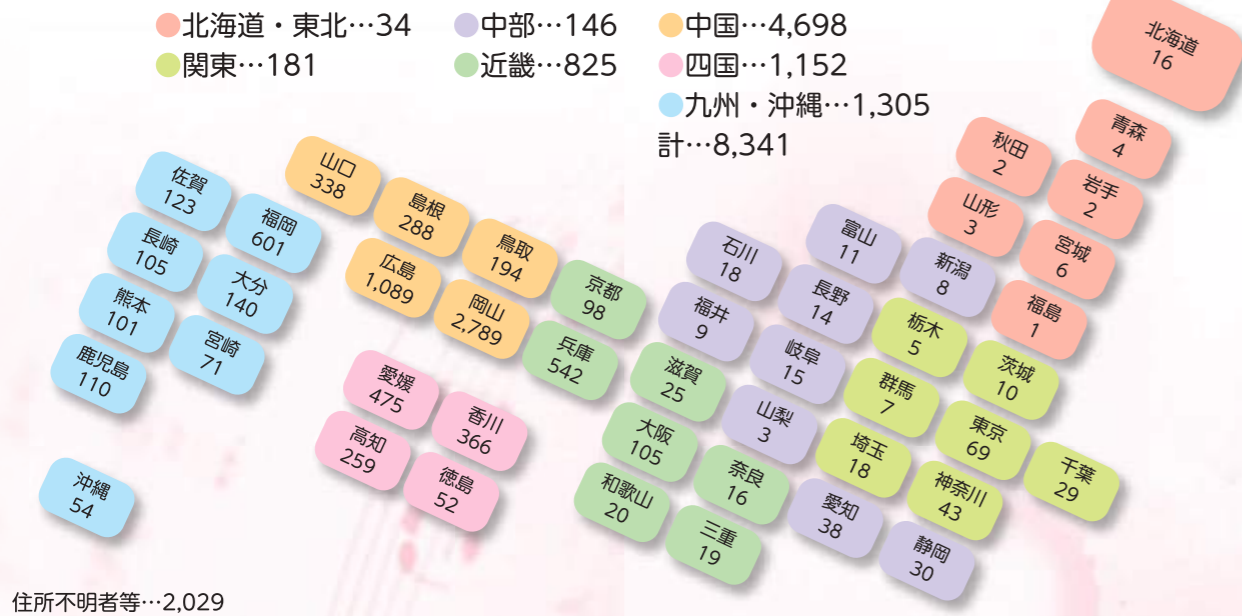
vol.8  
2018.6

## 鶴声会役員紹介

|  |  |       |       |                 |       |
|--|--|-------|-------|-----------------|-------|
| 顧問   | 会長   | 副会長   | 事務局長  | 事務局             | 会計    |
| 菊井勝 中桐 實 大林 史明 松井 輝善 井端 豊実                     | 安部 欽也  | 片山 嘉政 | 小山 陽介 | 館 一彰 岡村 晃平 林 慶祐 | 逸見 奈保 |
| 書記   | 常任理事   | 幹事    | 監査    |                 |       |
| 重利 和徳 居川 寛子 高見 恒代 長瀬 敏和 菅付 章宏 赤松 英彦 森 博文 鬼本 敏男 | 太田 詳子 岡田 敬二 久宗 旬子 元吉 恵子  |       |       |                 |       |
|  | 幹事   | 監査    |       |                 |       |
|  | 林原 郁雄 上甲 廣文 山下 武 入江 洋文 中井 章徳 野村 尚子 宇佐見 朋子 武田 真理子 杉山 里緒 浜崎 明美 徳永 晶子 |       |       |                 |       |

## 各県別会員数

(平成30年4月現在)



### 編集staff

監修：片山 嘉政  
編集長：小山 陽介  
制作：館 一彰・逸見 奈保  
林 慶祐



### 編集後記

会報誌「鶴の声」も第8号の発行を迎えて非常にうれしく思います。毎回発行に際し、取材協力、情報などご提供いただき大変感謝しております。今後も卒業生の活躍の様子など数多くご紹介したいと思っておりますので、情報がございましたら鶴声会事務局までお寄せください。

また、多くの卒業生の住所不明者もあり、一つひとつ調査しておりますが、個人情報保護法などのこともあり、困難を極めています。お知り合いの方で、会報誌が届いていない住所不明者になっておられる方がいらっしゃいましたら、ご一報くだされば幸いです。

## TOPICS

### 平成30年度 同窓会総会

平成30年度 同窓会鶴声会総会を下記のとおり開催いたします。是非、お越しいただけますようよろしくお願いいたします。出欠の有無については、同封の返信用ハガキにてお知らせください。欠席の場合でも、委任状となりますので、ご投函をよろしくお願いいたします。(平成30年8月27日必着) 皆様のご参加をお待ちしております。

期日 平成30年9月8日(土曜日)

時間 10時00分～受付  
10時30分～総会

会場 岡山口イダルホテル  
〒700-0028 岡山県岡山市北区絵図町2-4 Tel. 086-255-1111

挨拶～大学近況報告～質疑応答等  
12時00分～懇親会 ※会費(2,000円)

くらしき作陽大学同窓会 鶴声会

〒710-0292 岡山県倉敷市玉島長尾3515

Tel:086-523-0888 Fax:086-523-0811  
(くらしき作陽大学代表番号)

katayama@ksu.ac.jp



## 会長あいさつ



くらしき作陽大学鶴声会  
会 長 安部 欽也  
(音楽学部音楽学科 8 期生)

鶴声会会員の皆様、いかがお過ごしですか。  
平素から、同窓会鶴声会活動に対しご尽力・ご協力いただき、感謝申し上げます。

近年、少子化による社会的構造問題と大学を取り巻く環境の多様化が加速し、全国的にも音楽科の大学を専攻する学生の減少が深刻な課題となっています。

くらしき作陽大学では、これまでの実績と社会状況を認識し「社会が求める人材の育成」に主眼を置き、各学部共に人間力の向上・専門力・社会人基礎力の醸成に力を注ぎつつ専門教育の道を歩むプロの人材を地域社会に数多く輩出してきました。同時に、地域からの高い評価を得ています。

今年度、くらしき作陽大学の卒業生は、音楽学部、食文化学部、子ども教育学部の3学部を合わせて10,000名を突破致しました。同窓会鶴声会は、これからのくらしき作陽大学のますますの発展と活躍を期待しています。鶴声会会員の皆様には、今後とも本会の趣旨をご理解のうえ、より一層のお力添えとご協力をお願いいたします。

平成30年3月20日(火)評議委員会に出席  
学園の運営方針

- I 建学の精神と人間教育について
- II 経営基盤の強化について

平成30年度「学園重点目標」では、学園の置かれている状況を認識し、将来的に作陽学園が発展するために何が必要か、何をすべきかを各々が熟考し、日々の業務において有効な施策を効率よく実行するととの解説がありました。その後、各専門部からの事業計画等の説明を受けました。

## 学長あいさつ



くらしき作陽大学  
学長 松田 英毅

今年も満開の桜の中で、404名の新入生を迎え、平成30年度が始まりました。瑞々しい、元気一杯の若い学生は、将来がたのしく思われます。今春の卒業生のように、数多くの素晴らしい演奏会で、小・中学生や市民に多くの感動を与え、管理栄養士国家試験では全国でもトップクラスの成績を上げ、小学校、特別支援学校、幼稚園、保育園の公立採用試験では90名以上の合格者を出すなど、各学部の専門分野で大きな成果を4年後には上げてくれるにちがいありません。素直で明るく能力を秘めた新入生の活躍が楽しみです。

平成30年4月3日(火)入学式

麗らかな春の日差しの中、平成30年度くらしき作陽大学入学式が挙行されました。

総勢404名の新入生を迎え、松田英毅学長による式辞では「大学は自ら積極的に学び、自ら問題を解決することが必要である。みなさんは社会に出て最高の働きができるように、それぞれの専門分野で最大限努力して、専門力と人間力を身に付けることが大切です。4年間充実した学生生活を営めるよう祈念いたします。」と歓迎の言葉が贈られました。

また、新入生を代表して食文化学部・現代食文化学科の塚本友美さんが人格の向上と学術の研修に精進することを宣言されました。

今後も同窓会鶴声会では、3学部の在校生・卒業生の皆様がそれぞれの職場で活躍されている情報をより広く紹介するなど、同窓会の一体化、活性化を目指していきたいと思っております。また、現在抱えている諸問題を一つひとつ解決できるように大学と協力し、同窓会運営に向けて鋭意努力いたします。鶴声会の支部組織は、北は富山県から南は沖縄県まで21名の支部長を中心として活動を行っています。

平成29年度の主な活動として鶴声会と大学の連携事業として、高知県支部と香川県支部では恒例の吹奏楽・楽器別クリニックの開催。福岡県支部、広島県支部、山口県支部、関西支部においては、総会の席で大学の近況報告と説明会の開催。鶴声会本部、岡山県支部では、9月に地元の高校生・中学生を対象にした、くらしき作陽大学・作陽音楽短期大学、第1回教員によるジョイント・コンサートを岡山市内で開催し、盛況裏で開催終了いたしました。

また、鶴声会の鹿児島県支部をはじめ、高知県支部、愛媛県支部など支部独自の企画によるコンサート等が開催され会員相互の親睦を深めています。今後もより一層のご活躍を期待しています。

最後に、会員皆様の今後ますますのご活躍とご健勝を祈念し、併せて鶴声会への変わらぬご指導・ご鞭撻の程お願い申しあげ、ご挨拶とさせていただきます。

卒業生からも嬉しい便りがあります。小学校や幼稚園などに音楽の指導に飛び回り、多くの子どもたちから一杯元気をもらうのが、何ものにも代えられない喜びという人。またある人は、若くして夫に先だたれ、幼児を育て、女性の手一つで自営業を切り盛りし、今や子は成人し、立派な後継ぎになってくれたという便りです。「苦労も多かったらうけど良かったね、おめでとう」を言わずにおれません。

たまに、「えっ!」と声をあげることがあります。在学中に演奏活動で活躍していた人が、卒業して間もないこれからという時に病で急逝したとの知らせや、同窓会支部の中心となり盛り上げてくれていた人が、やがて定年という頃にガンで帰らぬ人になったという知らせを受けた時です。何らかの手助けはできなかったのかと悔やまれます。

10年ほど前から、出勤すると学長室に安置している仏像に線香をあげ、手を合わせることにしています。声の届かない所にいる全ての卒業生に対し、「元気でいきいき生きよ」とよびかけ、祈るのです。私には、それが卒業生に対して唯一のできることです。

## 総会のご案内

### 平成30年度 くらしき作陽大学同窓会 鶴声会 総会のご案内

平素から、同窓会鶴声会活動の支援にご尽力いただきありがとうございます。さて、今年度も右の通り鶴声会総会の開催を予定しております。卒業生の声を同窓会に届ける機会です。「卒業生のための同窓会」を有意義なものにするため、お友達とお誘い合わせのうえ、ぜひご参加ください。(毎回、学部・学年関係なく参加いただいています。)

期日:平成30年9月8日(土曜日)  
会場:岡山ロイヤルホテル  
〒700-0028 岡山県岡山市北区絵園町2-4  
Tel. 086-255-1111  
時間:10時00分~ 受付  
10時30分~ 総会  
挨拶~大学近況報告~質疑応答等  
12時00分~ 懇親会 ※会費(2,000円)

同封のハガキで8月27日(月)までにご返信ください。

## 減免制度のお知らせ

### くらしき作陽大学・作陽音楽短期大学 卒業生の子の 入学金減免制度

| 種 別  | 減免  | 金 額 | 入学金に準ずる額 |
|------|---|-----|----------|
| 採用人数 | 採用者数に制限なし   |     |          |
| 内 容  | 新入学生(大学院生を除く)の保護者(戸籍上の両親)が本学(くらしき作陽大学、作陽音楽大学、作陽短期大学)の卒業生である場合に入学金を還付する制度です。該当する学生は所定の期日までに教育支援室に申し出て、その指示に従って必要書類を提出してください。ただし、特待生制度との併用はできません。 |     |          |

※卒業生の方で大学の学生募集要項などで希望の方は同窓会事務局または大学までご一報ください。

## 同窓生の声

### 知識への渴望

示野 由佳 (本名:小松 由佳)

音楽学部教育音楽学科 卒業

幼少より音楽が大好きだった私は、レコードやFM放送をたくさん聴いて育ちました。フレーズや間の取り方等、楽譜に必ずしも書き込まれていないことに魅了され、これらの知識を深めたいと切望するようになりました。

作陽の教育音楽学部ピアノ科を卒業後、予てから望んでいた声楽の勉強を、ウィーンですることに決めました。西洋で知識を深め、人に伝えられるようになりたいと思いました。

現地ではどなたも声楽の先生を存じませんでしたが、ご縁に恵まれ、発声、リト他、たくさんの専門家のご指導を仰ぐことができました。

留学してすぐ、市毛佳恵先生に師事しました。先生は、ウィーン国立音楽大学の発声科とオペラ科を卒業され、大活躍なされていました。先生からは、発声の他、西洋芸術を学ぶ際、日本人が直面する問題等も教わりました。また、西洋芸術を演じて、自分の内面まで無理に変える必要はない、日本人らしさを忘れないように、とおっしゃったことが、私の心の大きな支えとなりました。



歌劇「リゴレット」にジルダ役で出演ルーマニアの劇場にて



フィオレンツァ・コッソット先生と私



日本大使館主催の喫日友好コンサート後ウィーン楽友協会にて

その後、市毛先生の師で、ウィーン国立歌劇場の発声教師トマ・ポベスク先生に師事しました。先生は「あなたは、非常に美しく質の高いリリックソプラノだ。オペラの主役を目指しなさい」とおっしゃいました。お姫様等、美しい主役が多く、競争率が甚だしい上、広い音域と高度な技術が求められる声なのです。私は「椿姫」「リゴレット」「ボエーム」の主役で劇場に出演できたので、とても嬉しかったです。

数年前、ポベスク先生が亡くなり、今はイタリアの大歌手フィオレンツァ・コッソット先生に師事しています。先生は、経験と知識が大変深く、発声も素晴らしいので、マリア・カラスやスカラ座の演奏解釈等良い勉強をさせていただいています。

残念ながら、歌の世界は汚い面があります。私が卒業したウィーン市立音楽院では、学校の中で発声の先生に師事しておらず、東洋人であるため、粗末な扱いを受けました。また、他の歌手の悪口や、嘘の悪い噂を流す人もいます。しかし、私は、これも勉強と思い、自分を見つめ、反省しながら生きていくように努めてきました。

「念願は人格を決定す。継続は力なり」この言葉が私を支えてきました。母校作陽に心より感謝申し上げます。